

Erez Golani Solomon氏 講演

2020 : Difficulties Imagining the Future

2020ー未来を想像する難しさ

エレズ・ゴラニ・ソロモン氏

※講演は英語で行われます

2020年夏季オリンピックの東京開催が2013年9月に発表されると、日本のモダニズム建築一とりわけかつての東京五輪を機に建てられた建物一の見直しと保存が注目されるようになった。この講演では、文化財保護に関する2つの観点を紹介する。一方では五輪招致の際に文化財保護を謳い、国立代々木競技場や日本武道館を再利用しようとするような、外的圧力から進められた保護の動きがあり、他方ではホテル・オークラと国立競技場の取り壊し、築地市場の移転問題や首都高速道路に見る、戦後の建築やインフラを見直す動きもある。こうした動きをさらに成熟、環境、ソフト・パワーなどを軸とした新たな日本のイメージ形成の観点からも考察したい。



エレズ・ゴラニ・ソロモン氏について

エレズ・ゴラニ・ソロモン氏は2006年に東京大学大学院より博士号（建築学）を取得後、エルサレムのベツアルエル美術デザイン学院の建築学科で建築デザインと理論の授業を担当され、早稲田大学でも教鞭をとられていらっしゃいます。現代都市にかかわる様々な問題や文化と政治が建築プロジェクトに及ぼす影響が氏の研究分野です。建築家として東京のFront Office建築事務所で活躍されています。

日時:2017年7月12日(水)

16:30-17:30

会場:3号館2階322教室

【主催】成城大学文芸学部英文学科

【後援】グローバル研究センター

文科省:私立大学研究ブランディング事業

【お問い合わせ】成城大学文芸学部共用研究室

Tel:03-3482-9412

